

# 「広島神楽」定期公演へようこそ!

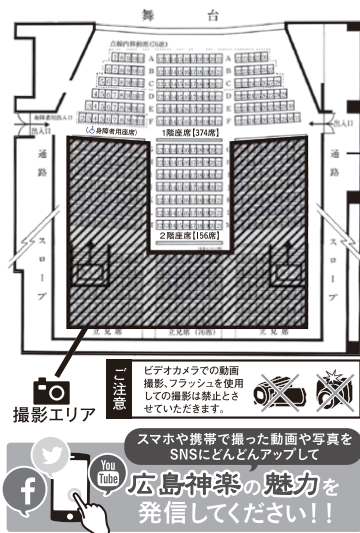
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。  
ご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

## 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



## 7月27日のタイムスケジュール

出演：宮崎神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『羅生門』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)  
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

みやぎきぐらだん

## 宮崎神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

明治の終わり頃、秋祭りには安芸高田市(旧高田郡)方面から神楽団の方々をお願いし、奉納していました。(古老先輩の談)このことに着眼し、大正初期頃、氏子から同好の者を募り、舞いの師事を得て「日進神楽団」として発足しました。戦時下で一時中断しましたが、昭和27年、当時は他の神楽団の衣装を借りての舞でしたが諸先輩が記録誌、用具(小物)を整え「志路神楽団」と改名しました。

その後、昭和34年に地区内外の方々に多大なるご協力を戴き念願の衣装が完成しました。そして、地元の宮崎八幡宮の名前を拝し、「宮崎神楽団」と改名し、現在104年目に至っています。未熟ではございますが、稽古を重ね後継者の育成に邁進してまいります。

## 第一幕『滝夜叉姫』(たきやしやひめ)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬(そうま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 奥崎 尊	大宅中将光圀 … 市川 雅裕	滝夜叉姫 … 西川 博
	小太鼓 … 荒川 公希	山城光成 … 中矢 和明	夜叉丸 … 西原 弘明
	手打鉦 … 土田 靖博		蜘蛛丸 … 佐伯 剛
	笛 … 西川 美代子		

## 第二幕『羅生門』(らしょうもん)

平安中期、京の都は、長雨、疫病、盗賊の横行など不穏な世情が続いていました。

都・羅生門で渡辺綱(わたなべのつな)に茨木童子(いばらぎどうじ)の左腕を切り取られた酒呑童子(しゅてんどうじ)は、子分可愛さの念に惹かれ、綱の乳母・白妙(しらたえ)の身体に取り入り、自らがその白妙に化けて綱の屋敷に入り込むと、ついにその腕を取り返します。

綱は主君・源頼光(みなもとのらいこう)の助けを得てこの妖鬼と戦いますが、鬼たちは虚空飛天(こくうひてん)の妖術で、大江山へと飛び去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 橋本 一登	源頼光 … 奥崎 尊	酒呑童子 … 西原 弘明
	小太鼓 … 倉田 美子	渡辺綱 … 市川 雅裕	茨木童子 … 佐伯 剛
	手打鉦 … 正林 宗徳	白妙 … 西川 博	
	笛 … 杉 藪 裕也		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。